

広 報

2024年5月号

編集委員 前原直之 南出美佐 黒須俊行 原嶋洋 原田由紀子

※豊島区薬剤師会総会を開催いたします

日時：令和6年6月24日（月） 20:30～21:00（予定）

場所：豊島区薬業会館

ご出席または委任状か議決権行使書の提出をお願いいたします。

※地区研修会のお知らせ

令和6年8月31日（土）に、地区研修会を開催する予定です。

詳細は追ってお知らせいたしますが、管理薬剤師の先生はご参加ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 令和6年度 基準薬局中央研修会のお知らせ

開催日時：令和6年7月7日（日） 12:30～16:00

開催方法：集合研修（会場受講）及びオンライン研修（Web 受講：ライブ配信）

場 所：星薬科大学メインホール（大講堂）（品川区荏原 2-4-41）

定 員：集合研修 1,000 名（注：定員に達し次第募集終了）※オンライン研修は制限なし

受講料：6,000 円 会員 2,000 円（申込時にカード決済）

申込方法：東京都薬剤師会ホームページ「お知らせ」より Web 申込み

申込期間：令和6年6月4日（火）10:00 から令和6年6月18日（火）

ただし、集合研修は定員（1,000 名）になり次第締め切らせていただきます。

単位認定：東京都薬剤師会 生涯研修認定制度 2 単位（予定）

2) 令和6年度 薬学講習会の開催について

開催日時：令和6年8月25日（日）13:00～16:25（予定）

開催形式：集合研修と配信視聴のハイブリット形式

《会場》「星薬科大学 メインホール」（東京都品川区荏原 2-4-41）

《配信》「Zoom 配信（ライブ配信のみ）」

定 員 数：《会場》先着 700 名 《配信》先着 2,000 名

受講料：無 料

申込方法：都薬ホームページ「お知らせ」より、受付開始予定（7月上旬頃）

単位認定：東京都薬剤師会 (G26) 認定 2 単位（予定）

3) 令和6年度第1回臨床薬学講座 一次救命処置(BLS)の開催について

日 時：令和6年7月21日(日) 13:00~17:05(予定)
場 所：東京慈恵会医科大学附属病院(港区西新橋 3-19-18)
内 容：心肺蘇生やAEDなどについて講義と実習 *BLSの修了証を発行します
講 師：東京慈恵会医科大学附属病院 救急部
定 員：先着30名
※ 受講料・申込方法等は東京都薬剤師会へお問い合わせください

4) 令和5年度「薬薬連携推進事業」アンケート調査結果並びに「薬薬連携推進関係者連絡会」協議内容について

令和5年度事業にご協力いただいた医療機関及び保険薬局に対するアンケート調査結果及びその結果をもとに開催された「薬薬連携推進関係者連絡会」での内容がまとまりました。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年5月資料

https://drive.google.com/file/d/1-QEiZRsq0sVPf4favbzPQIRzWXU9qpz2/view?usp=drive_link



5) 糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引きについて

本手引きにつきましては、厚生労働省ホームページから確認できます。

厚生労働省ホームページ

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療保険 > 国民健康保険制度 > 国民健康保険制度の保健事業について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryokuhoken/hokenjigyoku/index_00011.html



6) 訪問診療等に使用する車両に係る駐車許可について

訪問診療等に使用する車両が、訪問先に駐車場所がないために駐車禁止場所に駐車せざるを得ない場合、状況に応じて警察署長の駐車許可を受けることが可能となっています。当該対象車両に「居宅療養管理指導」が明記されました。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年5月資料

https://drive.google.com/file/d/1mZHbox96ZleVBKJmjbJQMcc7zdFKN1-K/view?usp=drive_link



7) 令和6年度不正大麻・けし撲滅運動の実施について

「令和6年度東京都不正大麻・けし撲滅運動実施要領」に基づき、不正大麻・けしの成長が盛んとなる4月1日から7月31日にかけて標記運動を実施することになりました。

詳細は東京都保健医療局ホームページをご確認ください。

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou_anzen/sto/p/taima/index.html



豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 【再掲】 高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。

残薬バッグの追加をご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月10日までに事務局まで所定の用紙にて報告をいただきますようお願いいたします。

2) 【再掲】 豊島区薬剤師会ホームページ更新について

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行うためにホームページをリニューアルしました。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす（地図またはリストで探せます）

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員入会

松井 久美子 (B)	西池薬局	西池袋 1-4-10-1	
大山 学 (A)	ハタ薬局	長崎 2-27-15-101	(経営法人変更のため)

会員数報告

A 会 員	114 名
B 会 員	12 名
賛助会員	2 名
合 計	132 名

保険部より

1) 電子処方箋補助

助成を受けるのにGビスID取得の必要あり

東京都保健医療局より、「薬局における電子処方箋の活用・普及の促進事業」として、電子処方箋及び電子処方箋の新たな機能を導入した薬局に対し導入に要する費用の補助について、事前に連絡が参りました。

事業実施に関する通知、要綱等の申請方法等の詳細については、東京都保健医療局より決定の連絡後改めてご連絡いたします。

1. 給付対象事業者：都内保険薬局
2. 申請期間（予定）：令和6年10月上旬から令和6年12月下旬
3. 問い合わせ先：東京都保健医療局健康安全部薬務課薬務担当 03-5320-4511

※本補助金の概要につきましては東京都保健医療局ホームページにてご確認をお願いいたします。

掲載ページ URL：東京都保健医療局

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anken/kenkou_anken/yakkyoku-denshi.html



2) 長期収載品選定療養

長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養については、「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等」及び「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」の実施上の留意事項について」の一部改正について（令和6年3月27日保医発0327第10号）及び「長期収載品の処方等又は調剤について」（令和6年3月27日保医発0327第11号）において、その取扱いを示したところ、その対象となる具体的な医薬品について、下記のとおりになります。

1. 対象医薬品の考え方について

長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養において、対象とする医薬品については、次の(1)から(3)までを全て満たすものとする。なお、詳細については「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める揭示事項等」及び「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」の実施上の留意事項について」の第3の30(2)及び(3)で示したとおりであり、併せて参照すること。

- (1) 後発医薬品のある先発医薬品（いわゆる「準先発品」を含む。）であること（バイオ医薬品を除く）。
- (2) 後発医薬品が収載された年数及び後発品置換え率の観点から、組成及び剤形区分が同一であって、次のいずれかに該当する品目であること。
 - ① 後発医薬品が初めて薬価基準に収載されてから5年を経過した品目（後発品置換え率が1%未満のものは除く。）
 - ② 後発医薬品が初めて薬価基準に収載されてから5年を経過しない品目のうち、後発品置換え率が50%以上のもの
- (3) 長期収載品の薬価が、後発医薬品のうち最も薬価が高いものの薬価を超えていること。この薬価の比較にあたっては、組成、規格及び剤形ごとに判断するものであること。

2. 対象医薬品リストについて

1の考え方に基づき、長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品についてリストを作成し、次のとおり厚生労働省ホームページで公表しているため、参照されたい。

なお、処方等又は調剤の場面における選定療養の適用にあたっては、医療上必要があると認められる場合や、後発医薬品の在庫状況等を踏まえ、後発医薬品を提供することが困難な場合に該当するかどうかを考慮して、判断する必要があること。

(参考) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html

3) オンライン診療の利用手順引き

地域でオンライン診療その他の遠隔医療を幅広く適正に推進するため、「オンライン診療その他の遠隔医療の推進に向けた基本方針（以下、基本方針）」が策定されたこと、また、取組にあたっての参考として遠隔医療の導入に関する事例集が作成されたことに関しましては、令和5年9月6日付け日薬発第202号にてご案内のとおりです。

今般の連絡は、基本方針等に基づき、オンライン診療の利用手順を示した手引書等を作成したことに関するものであり、とりわけオンライン診療における処方薬の受け渡し方法の手引書では、オンライン診療後の薬剤の交付について、類型別（院外処方箋に基づく対面服薬指導またはオンライン服薬指導／院内処方）の取扱いや留意点が整理されています。貴会並びに貴会管内の地域薬剤師会におかれましては、引き続き本手引きも参考としながら、医療資源が乏しく医療提供施設の安定的な開設・維持が困難である地域等において、必要に応じてオンライン診療から適切かつシームレスにオンライン服薬指導へ以降できる体制の構築等にご尽力賜りたく、内容につきご了承くださいますとともに、ご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(掲載ページURL：厚生労働省ホームページ)

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > オンライン診療について > 医療機関・薬局の皆様へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_38334.html

4) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvjl6An3GWZy3JDSlgLSOTVlaWlkDRX>



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

6月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和6年6月20日（木）19:45-21:35

場所：今回は情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：「人生100年時代のエイジングを考える」

ー老年医学の視点からみた天然アスタキサンチンの可能性ー

演者：アットホーム表参道クリニック 副院長 宮尾 益理子 先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→

「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和6年6月3日（月）9:00～6月14日（金）12:00

☆ご参加を事前申し込み100名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）

2) 【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

5月20日より、Ⅱ期実務実習が始まりました。

10薬局、16名の実習生です。

ご指導よろしくお願いいたします。

何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。

地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

6月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

お願ひ ~ 輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

6 月	日勤 9:00~16:00		準夜 16:00~22:00		事務兼務
1 日(土)			ダリヤ大塚台薬局		河添
2 日(日)	雄飛堂薬局 上池袋店	北池薬局	薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店		南出
8 日(土)			ヒバリ薬局(A)		黒須
9 日(日)	マロン薬局 大塚店	こまごめ薬局	ポラム薬局		黒須
15 日(土)			あかまつ薬局		藤平
16 日(日)	【B】畔原 篤 アスト薬局巣鴨店	北池薬局	デイジー薬局 東池袋店		南出
22 日(土)			かもめ薬局		江村
23 日(日)	アイン薬局 池袋駅東口店	雄飛堂薬局 池袋トキワ通り店	池袋萬盛堂薬局		黒須
29 日(土)			田辺薬局 豊島長崎店		河添
30 日(日)	あけぼの薬局 南長崎店	こまごめ薬局	平和通り保健薬局		南出

2) 長崎休日診療所派遣

6月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

6月	2日(日)	東池薬局
	9日(日)	池袋萬盛堂薬局
	16日(日)	佐藤薬局
	23日(日)	デイジー薬局東池袋店
	30日(日)	長崎調剤薬局

3) 医薬品・情報管理センター報告(令和6年4月)

○相談件数

薬局からの処方箋応需	7
患者からの処方箋応需	9
医療用医薬品についての相談	6
医療機関紹介	3
一般用医薬品についての相談	1
その他	5
合計	31

○管理センター売上及び仕入

売上	¥4,493,076
仕入	¥6,320,332

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	108 枚
そ の 他	319 枚
合 計	427 枚

○情報発信

薬価の「ねじれ現象」について

先日、セファクロールカプセル250mg「SN」を検索すると後発品でなくなっているということ、しかも先発品のケフラルカプセル250mgより薬価が高いことに気づきました。

対比表は下記のとおりです。

該当薬品名	区分	メーカー名	規格	薬価 (円)
ケフラルカプセル250mg	先発品	共和薬品	250mg1 カプセル	54.7
セファクロールカプセル250mg「トーフ」		東和薬品株式会社	250mg1 カプセル	54.7
セファクロールカプセル250mg「JG」		日本ジェネリック 長生堂	250mg1 カプセル	54.7
セファクロールカプセル250mg「SW」		沢井製薬	250mg1 カプセル	54.7
セファクロールカプセル250mg「TCK」		辰巳	250mg1 カプセル	54.7
セファクロールカプセル250mg「SN」		あゆみ製薬 シオノ	250mg1 カプセル	70.2

かんじゃさんの薬箱より引用

「SN」のみこのような現象が起こっています。気になったため、メーカーであるシオノケミカルに問い合わせました。

回答は不採算品目再算定の申請をし、適用が認められたためとのことでした。

不採算品目再算定は基礎的医薬品などとともに薬価下支え制度です。2024年度変更点がありますので、それを含めて概要を次に示します。

薬価下支え制度の拡充

基礎的医薬品では、収載からの経過期間に関する要件が現行の25年から15年に短縮されました。基礎的医薬品は、保険医療上の必要性が高く、医療現場で長期間にわたり広く使用されて有効性・安全性が確立されており、継続的な安定供給を確保する必要がある医薬品群です。基礎的医薬品の要件を満たす医薬品は、最も販売金額が大きい銘柄に価格を集約して薬価が維持されます。

薬価が著しく低く、採算が合わなくなった医薬品の薬価を引き上げる不採算品再算定は、昨今の急激な原材料費の高騰や供給問題に対応するため、企業から希望があった品目に特例的に適用されます。ただし、23年度の薬価調査の乖離率が、前回(22年度)薬価調査の平均乖離率である「7.0%」を超えた品目は対象外です。結果として約2,000品目に適用されることになります。

次ページの図もご参照ください。

また、なぜ「SN」のみ薬価が高いのかもシオノケミカルに聴いてみましたが、①他社は未申請だった。②申請したが認められなかった。のいずれかではないかとのことでした。

最後に先発品より高い薬価がついたことによる使用価値も問うてみました。特に服用しやすいなどの患者側へのメリットはなく、回答に苦慮していましたが、強いて言えば欠品を起こさないことだという返答がありました。確かに先発品は欠品状態の時があり、現状メリットの一つではありますが、患者にとって納得感が得られる回答としてはいまひとつの印象です。

セファクロールカプセル250mgは、基礎的医薬品です。新たに基礎的医薬品に該当するようになったものもありますので、後発医薬品比率の算定時や調剤には注意が必要です。

文責 河添

薬価の下支え制度と24年度薬価制度改革での対応

制度の概要		24年度改革
基礎的 医薬品	▽ 不採算品再算定や最低薬価になる前に薬価を下支えする制度 ▽ 対象品目 ・ 保険医療上の必要性が高いもの ・ 医療現場で長期間にわたり広く使用され、有効性・安全性が確立されているもの ・ 継続的に市場への安定供給を確保することが必要なもの	対象品目の要件を一部緩和 収載からの経過期間を25年→15年に短縮
	不採算品再算定 ・ 保険医療上の必要性が高いもの ・ 最低薬価が設定されていない、または最低薬価では採算がとれないもの ・ 薬価が著しく低額なため製造販売を継続することが困難なもの	原価高騰や供給問題への対応として、企業から希望のあった品目に特例的に適用 対象は約2000品目 乖離率7%超の品目は対象外
	最低薬価 剤形ごとにかかる最低限の供給コストを確保するため、成分に関係なく剤形ごとに設定	見直しなし

4) 令和5年度厚生労働科学研究費補助金「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究」に関するご協力をお願い

日本薬剤師会より協力依頼がございました。

令和3年より開始された地域連携薬局・専門医療機関連携薬局の認定制度に関しましては、今後の高齢化による医療ニーズの増大を念頭に、地域包括ケアシステムの中でその機能に応じた役割の発揮が期待されているところです。一方、現状これら認定薬局が地域医療において果たしている具体的な役割や活用状況の実態等は必ずしも明らかでないこと等から、その実態を把握するとともに課題を整理し、今後求められる機能及びそれら機能を保有していることを評価するための手法・基準を作成するため、厚生労働省は令和5年度厚生労働科学研究費補助金事業として「地域連携薬局・専門医療機関連携薬局が地域で果たすべき機能に関する調査研究（研究代表者：城西国際大学薬学部 山村 重雄 特任教授）」を実施することとなりました。

本研究では、認定を受けている地域連携薬局（約3900軒）および専門医療機関連携薬局（約170軒）等を対象としてWEBにてアンケート調査を実施するとのことであり、対象薬局には依頼状等が発送されております。依頼状が届いた薬局はご回答宜しくお願い致します。

5) 薬事日報からの今月の気になるトピック

☆約8割が薬局で服用希望 - 緊急避妊薬販売に満足感

日本薬剤師会は10日、緊急避妊薬のOTC化に向けた環境整備のための調査事業報告書をまとめた。購入者への事後アンケートでは、緊急避妊薬の服用が必要になった場合に約8割が「医師の診察を受けずに薬局で薬剤師の面談を受けてから服用したい」と回答。購入・服用した人の多くが満足している状況が分かった。一方、緊急避妊薬を販売できない妊娠可能性のある人については、販売可否のチェックリストで「妊娠の可能性」の判断に関する項目を改善すべきとの回答が約半数に上った。薬剤師による販売可否判断を的確に実施できる仕組みが課題に浮かび上がった。

特に「妊娠の可能性」を判断する項目については、145薬局中63薬局が改善すべきと回答。薬剤師による可否判断が的確に実施できるよう事前質問票とチェックリストを改善すると共に、チェックリストを補足する資材等作成の必要性が指摘された。

☆ポサコナゾールを禁忌 - イグザレルトの添文改訂

厚生労働省は8日、バイエル薬品の血液凝固阻止剤「イグザレルト」とMSDの抗真菌剤「ノクサフィル」(ポサコナゾール)について、添付文書の使用上の注意を改訂するよう製造販売業者に指示した。ポサコナゾールの投与によりリバーロキサバンの血中濃度が上昇し、リバーロキサバンの抗凝固作用が増強され、出血の発現が懸念されることが報告されている。そのため、リバーロキサバンはポサコナゾール投与中の患者、ポサコナゾールはリバーロキサバン投与中の患者を禁忌とすることを追記するように指示した。

☆受託者からの再委託は不可 - 調剤責任は委託薬局に

厚生労働省は9日付で、国家戦略特別区域調剤業務一部委託事業の実施要領をまとめ公表した。業務を受託した薬局(受託者)は対象業務を他の薬局に再委託することは不可としたほか、調剤の責任は原則として処方箋を受け付けた委託薬局(委託者)にあることを明記。委受託の件数や副作用疑い症状等を記した報告書を半期ごとに作成し、都道府県に報告することなども求めている。

国家戦略特区における実施要領では、対象業務を「調剤業務における一包化業務」に限定し、患者が直ちに必要とするもの、散剤の一包化など受託者が調剤監査を行うことが困難なものは対象外とした。

調剤の責任に関しては、原則として、処方箋を受け付けた委託薬局開設者と同薬局の薬剤師にあるとした。受託者は、対象業務を他の薬局開設者に再委託することは不可能とした。業務実施に当たっては、委託者・受託者共に、安全性の確保や質の適切な管理に必要な体制を整備する手順書の作成が求められ、薬局に備えておくよう求めた。受託者については、錠剤分包機や一包化の監査支援装置について求めることも記載した。委託者・受託者それぞれが実際の業務で遵守すべき事項も明記している。

6) 【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制(在宅含む)の構築、リスト化及び周知等について

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行います。

す。加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内

<https://toyoyaku.jp/residents.html>



7) 【再掲】 eST-aid をご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。

会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-STockという各薬局における採用薬の開示および不動態薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不動態薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム (eST-aid) <https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

日時：2024年5月15日(水) 午後8時30分開始 午後11時00分終了

場所：豊島区南池袋3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事 前原常務理事
南出常務理事 黒須理事 林理事 内山理事 原嶋理事 小林理事 北川理事 原田理事
藤平理事 大澤監事 廣田監事

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他
 - ・ 区が導入予定の災害システムについて現状の進捗状況を報告した。

協議事項

1. 就業規則改定の件
 - ・ 就業規則改定（有給休暇 第16条2項の前年度の残余休暇の次年度への繰り越し）について、繰り越しの有効期限延長を可能にすることが承認された。
2. 出勤費の件
 - ・ 出勤費の支給対象についての説明があり、今後の支給対象については、正副会長が方向性を考え、理事会で協議することとした。
3. 地域貢献証明証発行の件

- ・ 地域貢献証明証発行について、その都度発行すること及び紙ではなく PDF をメール添付で発行することが承認された。
- 4. ケアマネジャーと薬剤師会の件
 - ・ ケアマネジャーと薬剤師会について、服薬支援部会は多職種の内容を含むので地域医療・多職種連携担当グループのメンバーを入れることが承認された。
- 5. 6 月中旬以降開催予定の講習会（薬剤師会主催）開催の件
 - ・ 薬剤師会主催でケアマネジャー向けにケアプランの立て方などの講習会を開催することが承認された。
- 6. 地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築、リスト化及び周知等の件
 - ・ eST-aid の地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築、リスト化について、当初の運用のとおり非会員は無料とすること、区からの補助等が現状と変わった等の場合は改めて検討することになった。

審議事項

1. 新規入会承認の件
 - ・ 新規入会について入会が承認された。
2. 令和 6 年健康展の件
 - ・ 測定機器の機種選定について 6 月の理事会で機種を決定することに決まった。
3. すずらんスマイルプロジェクトの件
 - ・ 周知用カードと案内リーフレットを会員薬局の店頭に置くこと及び薬剤師会として街中なかすずらんサポーターに登録することが承認された。
4. 豊島区保健福祉審議会委員の推薦の件
 - ・ 現委員の佐野会長を委員に推薦することが承認された。
5. 令和 6 年度第 1 回地区研修会の日程の件
 - ・ 令和 6 年度第 1 回地区研修会の日程について諮られ、8 月 31 日（土）開催で進めることが承認された。
6. MSD からの公費対象子宮頸がんワクチン啓発活動への協力依頼の件
 - ・ MSD から依頼された公費対象子宮頸がんワクチン啓発活動への協力について及び啓発資材の配付、学校薬剤師会への協力依頼等について実施することが承認された。
7. 区の涼みどころ薬局事業への協力体制の件
 - ・ 区の涼みどころ薬局事業への協力体制について、事業を進めることが承認された。
8. リクリエーションの件
 - ・ リクリエーションについて、第 1 候補日が 9 月 29 日（日）、第 2 候補日が 10 月 6 日（日）で実施することが承認された。

豊島区薬剤師会の活動（4月）

4/ 1（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務担当グループミーティング
4/ 6（土）	東京都薬剤師会	地区・職域薬剤師会会長会
4/10（水）	豊島区薬剤師会	4月度理事会
4/10（水）	豊島区薬剤師会	学術・保険担当グループミーティング
4/11（木）	豊島区薬剤師会	あうる運営委員会
4/11（木）	豊島区薬剤師会	地域医療・多職種連携担当グループミーティング
4/16（火）	豊島区薬剤師会	第1回選考委員会
4/16（火）	豊島区薬剤師会	服薬支援部会
4/17（水）	鈴木はやと	意見交換会
4/18（木）	豊島区薬剤師会	学術講演会
4/24（水）	保健所長・健康部長	就任挨拶
4/26（金）	豊島区薬剤師会	実務実習集合研修

令和6年度の主な活動予定

- 地区薬剤師研修会
 - 第1回 8月31日（土）
 - 第2回 日程未定
- 薬剤師研修会
 - 日程未定
- 区民公開講座
 - 第1回 10月27日（日） としまセンタースクエア
 - 第2回 12月 8日（日） としま区民センター（健康展同時開催）
 - 第3回 日程未定
- 健康展
 - 12月 8日（日） としま区民センター

医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター 長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載すること
にしました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目：医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位：容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハブ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格：医薬品…薬価（消費税込）／ その他医療材料等…取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回 110 円（消費税込）
	その他医療機関	1 回 2,200 円（消費税込）

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。
※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時 から 16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時 から 17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時 から 21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出ください。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。
その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出
いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

公益社団法人豊島区薬剤師会
医薬品・情報管理センター 御中
FAX 03-3984-7546

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名 _____

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。F A Xでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い(過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む)

	製品名	小分単位	備考
内	イーシー・ドパール配合錠	錠	
内	インチュニブ錠 3mg	錠	
内	オルメサルタン OD 錠 40mg「DSEP」	錠	
内	クラシエ大柴胡湯エキス錠(EKT8)	包	
内	グルファスト OD 錠 10mg	錠	
内	シメチジン錠 200mg「サワイ」	錠	
内	セレコキシブ錠 100mg「VTRS」	錠	
内	タモキシフェン錠 20mg「サワイ」	錠	
内	トピロリック錠 60mg	錠	
内	プロピペリン塩酸塩錠 10mg「サワイ」	錠	
内	ベムリディ錠 25mg	錠	
内	メルカゾール錠 2.5mg	錠	
内	レンビマカプセル 4mg	C	
内	ロピニロール錠 2mg「JG」	錠	
外	オフロキサシンゲル化点眼液 0.3%「わかもと」	本	
外	ブリモニジン酒石酸塩点眼液 0.1%「SEC」	本	
外	ミケラン LA 点眼液 1%	本	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内	イブランスカプセル 125mg	
内	エプトール 125mg 錠	
内	エルトリブタン OD 錠 20mg「アメル」	
内	オキシブチニン塩酸塩錠 1mg	
内	クラシエ小半夏加茯苓湯エキス細粒(KB-21)	
内	クラシエ当帰芍薬散料エキス細粒(KB-23)	
内	ジソピラミド徐放錠 150mg「SW」	
内	セレコキシブ錠 100mg「ファイザー」	
内	ディオバン錠 20mg	
内	トリラホン錠 2mg	
内	フルカムカプセル 27mg	
内	フルバスタチン錠 20mg「サワイ」	
内	プロピペリン塩酸塩錠 10mg「MED」	
内	ランドセン細粒 0.1%	
内	ロピニロール徐放錠 2mg「サワイ」	
外	スピラゾン軟膏 0.3%	
外	パンデルローション 0.1%	
外	フルコートクリーム 0.025%	
外	フルルバンパップ 40mg	
外	ベトノバール G クリーム 0.12%	

6 都薬会発第 72 号
令和 6 年 5 月 11 日

地区・職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会 長 高 橋 正 夫

「OTC医薬品事典 第19版」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では、㈱じほう発行の「OTC医薬品事典 第18版」を斡旋しておりますが、この度、同社より「**第19版**」が4月に発刊されましたので、引き続き下記要領にて斡旋することといたしましたのでご案内申し上げます。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

1. 名 称 : 「OTC医薬品事典 第19版」
2. 発 行 : 株式会社 じほう
3. 判 型 : A5 判、 1,038 頁
4. 価 格 : 定 価 7,480 円 (税込)
 会員価格 6,490 円 (税込)
5. 送 料 : 地区薬剤師会宛 無 料
 個人・薬局宛 10 冊未満 550 円
 個人・薬局宛 10 冊以上 無 料
6. 申 込 先 : 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
7. 申込方法 : FAXでお申し込み下さい。(FAX 03-3294-7359)
8. 送金方法 : 請求書は、ご注文頂いて一週間程後に郵送いたします。
 本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局 薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

→

地区・職域薬剤師会
東京都薬剤師会
(いずれかを○で囲って下さい)

御中

幹旋図書 申込書

6都薬会発第72号【6年5月版】

★上記薬剤師会のいずれかにお申し込み下さい。(申込先によりご負担いただく送料が異なります 送料欄参照)

申込年月日		年 月 日
書籍届先	薬局名 又は 地区・職域薬剤師会名	※地区・職域薬剤師会が一括申込をされる場合は地区名のみご記入ください
	住 所	〒 _____ ※地区・職域薬剤師会事務局の場合は記入不要
	請求先住所	〒 _____ ※上記と同じ場合は記入不要
T E L		()
F A X		()
御担当者氏名		

該当書籍並びに別送いたします請求書の到着まで、このお申込書は大切に保管願います。

No	出版社名	書 籍 名	幹旋価格 (消費税込)	+ 送料(税込)	部数
1	じほう	「OTC医薬品事典 第19版」 ※4月発刊予定 (定価7,480円)	6,490	地区・職域薬 薬局・個人 〃 10冊以上 無 料 550円 無 料	

※ 他の幹旋刊行物につきましては『日本薬剤師会雑誌』掲載の“日薬刊行物等のご案内”欄をご覧ください

★申込は、所属の地区・職域薬剤師会事務局もしくは下記の東京都薬剤師会事務局までお願いします。

問合先：事務局 薬局業務課・書籍担当
公益社団法人 東京都薬剤師会
TEL 03(3294)0271